

令和元年6月 第1回金原・上鈴金テレビ共同受信施設調査特別委員会

令和元年6月13日(木)

○議事日程

- (1) 委員長の互選について
- (2) 副委員長の互選について
- (3) その他

○出席委員 (11名)

委員長	11番	芳賀芳夫君	副委員長	5番	日置紳一君
	1番	川上絹子君		2番	向井孝一君
	3番	山崎仁君		4番	小川ひとみ君
	6番	内ヶ島祐一君		7番	上村忠君
	8番	岸徹也君		9番	徳田栄邦君
	10番	村上忠弘君		(議長)	村瀬廣君

○欠席委員 (0名)

○出席事務局職員

議会事務局長	成田光康君
議会事務局主幹	佐藤直樹君

○議会事務局長（成田光康君） 皆さん、ご苦労様です。

本委員会は、議長を除く11名で構成される委員会で、本日が第1回目の開催となりますので、委員長が決まるまでの間、委員会条例第8条第2項の規定により、出席委員の中で年長の委員が互選に関する職務を行うこととなっております。

年長委員の徳田委員に進行をお願いいたします。

◎開会の宣言

○年長委員（徳田栄邦君） 徳田でございます。

年長委員であります。

よろしくをお願いいたします。

只今の出席委員は11名で定足数に達しておりますので、第1回金原・上鈴木テレビ共同受信施設調査特別委員会を開会いたします。

◎議題1

○年長委員（徳田栄邦君） これより議事に入ります。

議題1、委員長の互選についてを議題といたします。

委員長の互選方法について、ご意見をお伺いしたいと思います。

どのようにしたらよろしゅうございますでしょうか。

日置君。

○5番（日置紳一君） 指名推薦でお願いします。

○年長委員（徳田栄邦君） いま、日置君から指名推薦とのことですが、よろしゅうございますか。

（「異議なし」の声あり）

○年長委員（徳田栄邦君） 日置君、異議がないそうなので誰を。

○5番（日置紳一君） 山崎さんを指名いたします。

○年長委員（徳田栄邦君） いま、山崎君という意見が出たんですけども、いかがでしょうか。

私はなるべく常任委員会とだぶらない方がいいんじゃないかと思うんですよね。

○5番（日置紳一君） 撤回します。

○年長委員（徳田栄邦君） この際、臨時の議長から指名してもよろしゅうございますか。委員長を。

私は、副議長にお願いをしたいですけども、皆さんいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○年長委員（徳田栄邦君） よろしゅうございますか。

それでは副議長をお願いいたします。

委員長と交代いたします。

◎委員長あいさつ

○委員長（芳賀芳夫君） ただいま、徳田座長からの推薦で、特別委員会の委員長に就任いたしました、芳賀です。

これから色々皆様の協力を得ながら請願された皆様の負託に応える、皆さんとともに協議・検討してまいりたいというふうに思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

◎議題2

○委員長（芳賀芳夫君） それでは引き続き、議題2の副委員長の互選についてを議題といたします。

副委員長の互選方法について、ご意見をお伺いいたします。

どのような方法でよろしいか。

○9番（徳田栄邦君） 委員長、指名推薦をお願いします。

○委員長（芳賀芳夫君） わかりました。指名推薦をお願いいたします。

○9番（徳田栄邦君） 日置君を指名したいと思います。

○委員長（芳賀芳夫君） その他ございませんか。

ただいま、日置さんという推薦がございました。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（芳賀芳夫君） ご異議がないので、副委員長の互選については、日置委員と決定いたします。

それではここで、副委員長から就任のご挨拶をお願いいたします。

○5番（日置紳一君） 芳賀委員長の手足となって、少し頑張らせていただきますので、よろしく願いいたします。

○委員長（芳賀芳夫君） 以上で議題の2を終わります。

◎議題3

○委員長（芳賀芳夫君） 次に、その他を議題といたします。

皆さんの方から何かございませんか。

なければ、次回の委員会開催日程については、正副委員長と事務局で調整の上、決定することといたしたいのでありますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（芳賀芳夫君） ご異議がないので、そのように決定いたします。

その他、何かございますか。

徳田君。

○9番（徳田栄邦君） 次回の特別委員会の開催前に委員長と副委員長でこの金原・上鈴金の請願者とお会いになって、どういうふうにしたいのか、その辺のところをちょ

っと聞いておいてほしいんですね。

大体、直すとなったらどのくらいかかるものか、どの程度まで直したいのか、その辺のところを何も知らない中で委員会を開いても、我々答えの出しようがないと思いますのでね。

その結果で現地調査、そういうもの必要だって向こうが言うのであれば、しなければならぬし、その辺のところもこれからの進め方を向こうと打ち合わせして、それから日程を決めたらいかがでしょうか。

○委員長（芳賀芳夫君） 関連して、その他何かございますか。

なければその辺も含めて事務局、正副委員長と協議して。

○3番（山崎 仁君） 正副委員長だけが良いのか、紹介議員も中に入るのが良いのか、それとも参考人とか呼んで聴取するのが良いのか。

○9番（徳田栄邦君） その辺、正副委員長にお任せします。

○3番（山崎 仁君） 全体の中の特別委員会の中で参考人招致して、そこで話を聞くのか。

紹介議員と正副委員長を交えてやるのか。

どっちみち紹介議員中に入らなかつたらなつた意味ないしよ。

事情を聞くにしても。

○2番（向井孝一君） それは正副委員長の判断だから、入って下さいと言えば入るし、入らないよと言えば入らないし。

○3番（山崎 仁君） 簡単にできるのは正副委員長で。

○委員長（芳賀芳夫君） 向井紹介議員、ちょっと良いですか。

何か詳細について懇談した結果はある。

○2番（向井孝一君） それは聞いています。

○委員長（芳賀芳夫君） きょうはいいですから、あとからお伺いしたいと思います。

ただいま、委員の方から参考人招致、あるいは紹介議員を含めてどうなのかというご意見がありましたが、この辺も事務局、正副委員長とあわせて協議して、調整していきたいと思います。

よろしゅうございますか。

◎閉会の宣告

○委員長（芳賀芳夫君） それでは本日の第1回特別委員会をこれで閉会いたします。大変ご苦勞様でした。

閉会 14時37分